

心理学専攻

第16回コロキアムのお知らせ

下記のとおり、第16回コロキアムを開催いたします。どなたでもご参加いただけますが、博士課程の学生は必ず参加してください。博士課程の学生以外の方もぜひ積極的にご参加ください。

記

日時：12月1日（木） 18時10分より

場所：三田キャンパス南校舎4階 443番教室

発表者：尾島 司郎（人文グローバルCOE）

題目：外国語能力は母語と数学に共通する記号処理と関連する

概要：言語は脳に宿る機能である。外国語の熟達者と初心者では、脳のどこかに違いがあるはずである。実際、外国語能力が異なる人々が外国語を理解している時、脳活動に明らかな差が認められる。それでは、外国語の能力が異なる場合、外国語以外の能力はどうなっているのだろうか？ これまでの行動研究では、外国語能力が高い場合、母語の能力も高いことが報告されている。つまり、外国語に熟達している人は、自分の母語に関してより鋭い感覚を持っている。こうした行動研究の知見に基づき、今回我々は、行動としての反応が得られる前の段階の脳活動を、脳波（事象関連脳電位）により調べた。さらに、外国語能力が異なっていれば母語だけでなく、他の種類の記号処理も異なっているという可能性を検討した。被験者は日本人の成人で、英語の能力の高いグループと低いグループの2群を設けた。日本語における行動検査では、従来通りの結果が得られた。また、脳波を測りながら日本語の文を黙読させると、分析対象の単語の提示から0.5秒以内で既にグループの差が見られた。言語ではなく、数式を提示して黙読させても、同様の差が見られた。これらの結果により、外国語能力は、母語や数学に共通する、抽象的なレベルにおける記号処理と、相関関係を持つことが示された。

以上